

第6回 インターンシップに役立つ 企業・業界研究」 Part2

日時：2019年7月9日(火) 16:20～18:00

場所：文学部B253講義室

講師：北濱愛美氏（株式会社マイナビ）

まずは就活の流れをおさらいしておきましょう。就活では、選考を受ける企業を絞り込む前に、①「仕事を幅広く観る」、②「気になる仕事を調べる」という準備が必要となります。この準備がしっかりできているかどうかによって、今後の就活（志望動機を明確化できるか）、あるいは人生（内定ブルーに陥らずに済むか）が大きく左右されると言えるでしょう。5月21日のPart1に続き、今回はマイナビの北濱先生に、「インターンシップに役立つ企業・業界研究 Part2」として、②「気になる仕事を調べる」についてお話しいただきました。

調べる段階については、「レベル1（＝インターンシップ参加前にチェックしておくべきこと）」、「レベル2（＝インターンシップ参加中や参加後に考えること）」に分けられます。ここでは「(株)資生堂」と「凸版印刷(株)」の二社について、実際にスマホを使って基本情報や事業内容を調べてみます。

基本情報としては、最寄り駅、資本金、事業所、福利厚生、設立、社員数、売上高（年）、基本給などが挙げられます。レベル1では、それらの情報を基に、事業内容、同業他社との比較、自分が興味を持った理由や興味のあるポイント、聞いてみたいことや疑問点などをまとめておくといでしょう。

レベル2では、「SWOT」という視点を取り入れてみます。内的なプラス要因「Strength＝その企業自体の強み」、マイナス要因「Weakness＝その企業の弱み」、外的なプラス要因「Opportunity＝景気や規制緩和等」、マイナス要因「Threat＝競合の出現、法改正等」について、対象企業を調べてみます。複合的な角度から企業を調査することによって、その企業の未来を予想することができますので、悔いの残らない選択や、より深く具体的な志望動機につながるでしょう。「新規事業を提案してください」「弊社の課題は」といった質問にも対応できるようになります。新聞や業界研究本、インターネット（就活サイトやUiletなど）を活用しつつ、様々な企業をこの視点から調査・分析してみてください。

インターンシップ参加後には、その内容、参加後に感じたことを整理しておきましょう。また、その後の合同説明会や

OB・OG訪問の際には、採用担当者名、募集職種や仕事内容、求める人物像、社風や平均年齢、質問事項と回答などを整理しておくといでしょう。

最後に受講生の感想をいくつかご紹介します。
・情報収集が大切とはよく言われるが、具体的に何をどうしたらよいのかがわかった。
・基本情報など、あらかじめ知っておくべき情報、その調べ方が確認できた。
・実際に企業や業界について調べてみて、その難しさが体験できた。
・SWOT分析を早めに知ることができたので、インターンシップを有意義なものにできそうだ。
・SWOTの中でも、「O」や「T」の重要性やその調べ方を知ることができた。

参加者：学生 31名、教職員 3名